

平成22年度 入学試験問題

造形学部 視覚伝達デザイン学科

鉛筆デッサン (3時間)

## 【問題】

手と、与えられたモチーフ(水入りペットボトル)を自由に使い、描きなさい。

## 【条件】

1. 手と、与えられたモチーフ(水入りペットボトル)を必ず描く。  
ペットボトルは、必ずつぶしたり自由変形させること。
2. 紙コップを使用し、水の量を必ず自由調整すること。  
紙コップは、モチーフとしない。
3. ペットボトルのラベルを、必ずはがすこと。  
はがしたラベルは、モチーフとしない。
4. 答案用紙は縦横自由。
5. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を必ず書くこと。

## 【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. 水入りペットボトル×1本
4. 紙コップ×1個
5. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

## 《禁止事項》

答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

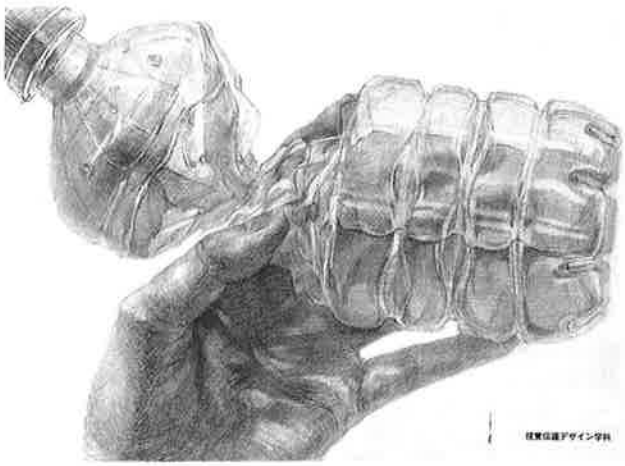


## 出題意図

1. 視覚に「特化」した認識として、観察力の確かさをみる。
2. 視覚は、触覚など「五感と連動した感覚」でもあり、観察力の深さをみる。
3. デザインのキーワードである、「対比・比較という関係性」として現象を理解できているか。  
また、関係が発生するとき「変化」ともなうが、それに「気付き」、さらに「発見」へと展開できているかをみる。
4. 見せ方としての「描写力」と、伝え方としての「表現力」を、ともに鍛えられているか。

## 評価のポイント

1. 与えられた「モチーフ」と「手」を「見る」ことが、しっかり出来たか。  
(見分け、見極め)の視覚的能力の確かさをみた。
  2. 「モチーフ」を「手」に取り、触るなどして五感をよく働かせ、(観察)を深めたり広げられたか。
  3. 対比・比較については、「工業製品の人工性/自然性の水・手など」「プラスチックの固体/液体の水」「手の柔らかさ/堅いプラスチック」「水・プラスチックの透明/不透明な手」「手前に見えるものの直接性/間接性として水・プラスチックごしに見えるもの」「複雑さ/平板さ」「光・明るい/影・暗い」など関係性として、与えられたモチーフを認識・理解がどの程度出来ていたか。この点については、描写力を支える思考や知性が問われてもいる。また、「手」が「モチーフ」に触れて関係するとき、発生する変化・現象にどれだけ気付けたか。さらには、その「気付き」が「発見」へと良く展開されているかをみた。この点については、感性の豊かさが問われるだろう。
- さて、例年出題に含まれる「手」についてだが、飛び出した脳とも言われる目とともに、人間の文明を具体的に担ってきた人間の身体性に対して、その形や働きをどの程度理解しているかをみた。
4. 「その描かれたものが何で、どのように在るのか」誰もが理解しやすい(見せ方としての描写力)は、写実的なデッサン・トレーニングによって形成できよう。そうした鉛筆デッサン訓練の積み重ねが、十分な到達を示していたか。
- また、「見ること」「観察を深めたこと」「気付き」「発見」したことを、他者に確実に伝えるために「画面の調子・リズム感や構図法」などによって、作品が(総合的表現力)として立ち上がっていたか。



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



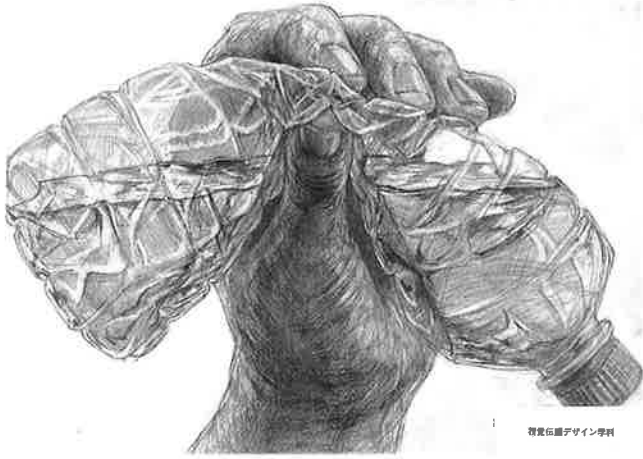
視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



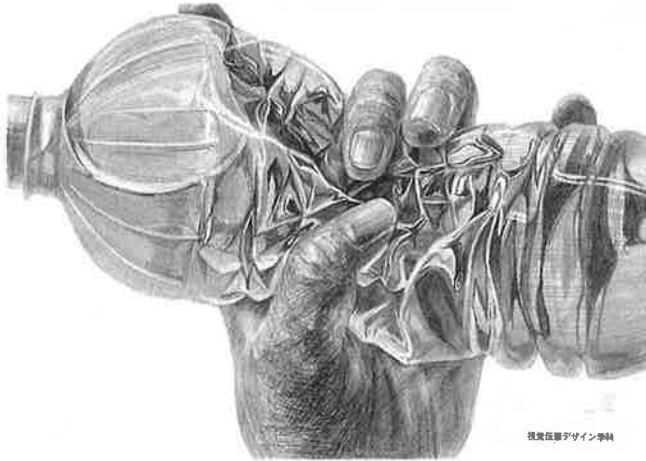
視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科

平成22年度 入学試験問題

造形学部 視覚伝達デザイン学科

デザイン (3時間)

## 【問題】

与えられた素材から好きな人のアルファベットの内、3文字を選び、その文字の形のみを使用して、ひとつの「動作、または表情(走る、跳ぶ、笑う、など)」を色彩構成しなさい。

画面左下の与えられた枠内に自分の表現した動作、または表情を20字以内で書くこと。

## 【条件】

1. 文字の形の変形(部分、拡大、裏返し、ゆがみなど)、繰り返しは自由。
2. 使用する色数は自由。
3. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし、紙の白は白色とみなすので、必要に応じて余白部分があってもかまわない。
4. 答案用紙は横長で使用する。
5. アルファベット文字の入った包装はモチーフではない。

## 【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3ケント紙)×1枚
3. アルファベット26文字
4. 下書き用紙(B4上質紙)×3枚

## 【禁止事項】

答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

## 出題意図・評価のポイント

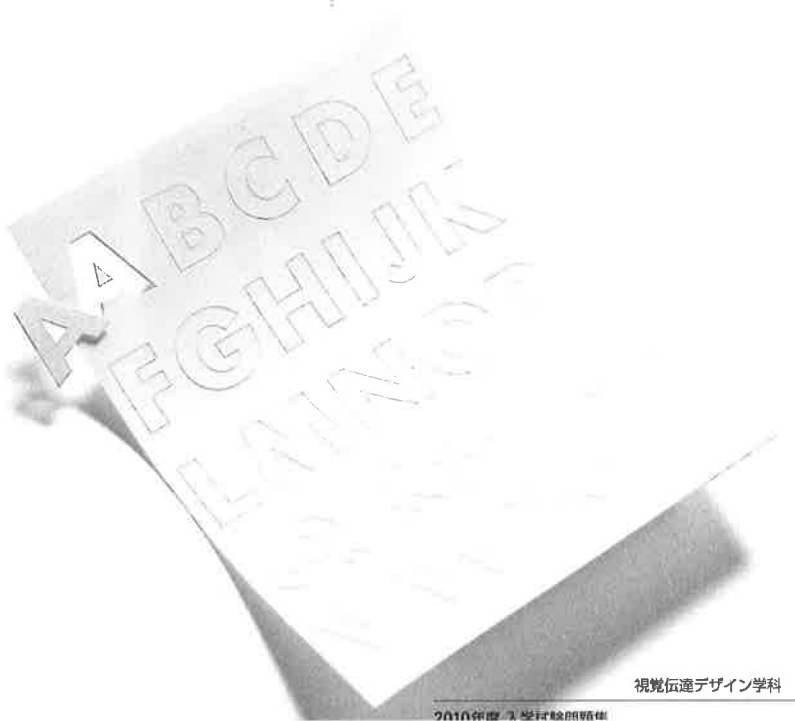
この問題は与えられた変形可能なアルファベットから3文字を選び、その文字の形態のみを使用して動きや表情を表現することを求めています。

これはいわゆる「見立て」というもので美術や建築などの領域でも従来から行われている表現手法のひとつです。

感情や感覚はそれ自体、形のない抽象的なものです。しかし私たちは具体的な形(身体の動作や顔の表情の変化)に置き換えることで目に見えるかたちにし、日々コミュニケーションを行っています。

同様に与えられた画面上で形態、色、空間を操作することを通して「単なる文字」が生命、感情を帯びるようになります。受験生にはそこにトライしてもらいたいと思いました。

採点においては画面左下に書かれた受験生の文言(それがどのような動作、表情か)を丁寧に読み取りながら、それが表現されているか、伝わって来るかに重点を置いてなされました。その結果、問題に対するひとつの正しい答えというよりは多様な表情や動きの表現を見ることができました。







美味しいごはんを食べると顔がほころぶ

視覚伝達デザイン学科



水の中に落ち込んでしまった。

視覚伝達デザイン学科



ゆらゆらと波に身を任せ漂う

視覚伝達デザイン学科



きもちいい朝はズンズンと快活に歩く

視覚伝達デザイン学科



内に秘めていた想いが涙となりあふれ出す

視覚伝達デザイン学科



あの人はカイカツな笑い方をする

視覚伝達デザイン学科



小さな出来事にこそ思わず表情をゆがめる。



柔道の枝



よろこびの笑い



悲しみにくれる涙



怒った表情のあなたも素敵です。



勢いよく、しなやかに幅跳びをする

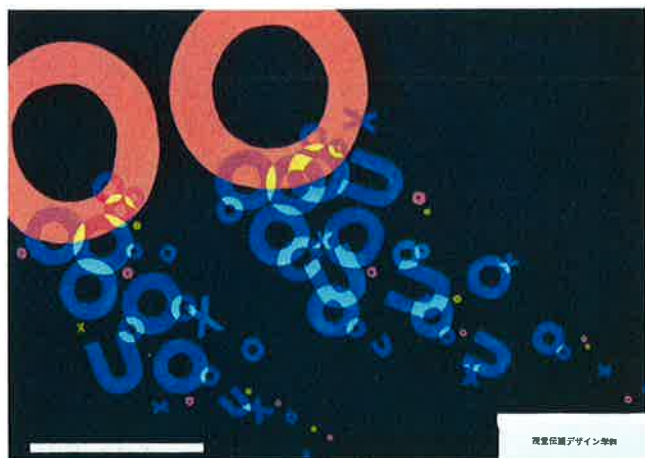




彼女のダンスはまわりをまきこむ



さわやかな風でフワッと気分が舞い上がる。



こらえきれずに あふれる 涙



願がしい日常の中でふと立ち止まってみる